

平泉一関エリア農泊推進協議会

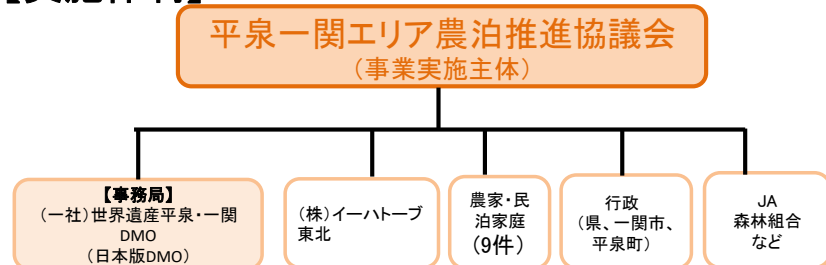
いちのせきし、ひらいずみちょう
〔岩手県一関市、平泉町〕

- “エリア全体での農泊ビジネス化”を目的に平泉一関エリア農泊推進協議会を設立。通過型から滞在型観光へのシフトを目指し、ワンストップのオペレーション機能構築、古民家を改修した農泊体験施設を整備。
- 簡易宿所や住宅宿泊事業者の認可に向けた研修を進めながら農家同士のネットワーク構築を行うとともに、海外メディアでの露出を図り、エリア全体での価値・情報訴求を図る。

岩手県一関市、平泉町



【実施体制】



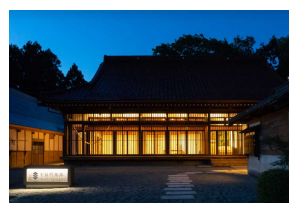
- 「一BA(いちば)」を運営する事務局：(一社)世界遺産平泉・一関DMOが当エリア全体の農泊オペレーション機能を構築。
- 各農家・民泊家庭では農家レストラン等を併設運営する事業者も多数。更なるクオリティ向上、所得向上を目指す。

【特徴的な取組】

- ①JR一関駅前の「一BA(いちば)」にて農泊の予約・決済・アクセス案内等をワンストップ化し、各受入農家等の負担削減と、旅行者へのサービス向上やコミュニケーションを図る。
- ②築150年の古民家を一棟貸しの農業体験宿泊施設に整備。地元食材を使った料理の提供や体験メニューを造成。
- ③セミナー等を通じて先進的な取り組みを行う農泊家庭のノウハウ共有を行い、サービスやクオリティの向上を目指す。



▲「一BA(いちば)」の内観



▲改修した古民家(平泉倶楽部)



▲研修会の様子

【取組内容】※ 高度化

①キャッシュレス環境の整備

包括加盟店契約を結びクレジット決済端末の導入を行う。さらに農泊関係者向けのキャッシュレスの概要や端末の説明セミナーも同時に実施。

②多言語対応(外国人向けのPR活動)

当協議会のHPを多言語化実施。SNSに向けた外国人向け体験記事の投稿を積極的に行い、誘客を目指す

③外国人向け体験メニュー開発、体験施設PR

東北の訪日外国人では圧倒的なシェア(数値的根拠も入れる)を持つ台湾に対する旅行会社向けセールスや受け入れ農家の異文化理解を目的とした台湾現地での研修を実施

いままでの取組み状況(海外プロモーション(主に台湾))



▲台湾女性向け雑誌「女人下班後」等へプロモーション記事掲載。



▲インバウンド誘客のため台湾への営業活動等を展開。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



※築150年の古民家を改修し整備した「平泉倶楽部」の内観や提供料理など。